

文教委員会報告資料

令和3年1月21日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 足立はばたき塾運営委託契約プロポーザル選定委員会の審査結果について	2
(2) あだち日本語学習ルームの現在の指導状況について……………	5
(学校運営部)	
(3) 校外施設の利用申込み方法の変更について……………	8
(子ども家庭部)	
報告事項なし	

(教 育 委 員 会)

文教委員会報告資料

令和3年1月21日

件名	足立はばたき塾運営委託契約プロポーザル選定委員会の審査結果について									
所管部課名	教育指導部学力定着推進課									
内容	<p>1 「足立はばたき塾運営委託」委託事業者選定結果について</p> <p>(1) 選定委員会（プレゼンテーション）開催日 令和3年1月8日（金）</p> <p>(2) 選定委員 7名（学識経験者2名、区民2名、区立小・中学校長代表2名、区職員1名（欠席））</p> <p>(3) 審査対象事業者 2者（提案書提出事業者 2者）</p> <p>(4) 審査結果 ※ 詳細はP4のとおり</p> <table border="1" data-bbox="504 972 1342 1256"> <thead> <tr> <th>提案事業者</th> <th>得点 (満点 732 点)</th> <th>得点率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式会社 エデュケーショナルネットワーク</td> <td>631点</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td>第2順位事業者</td> <td>578点</td> <td>79.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 提案書特定事業者 株式会社エデュケーショナルネットワーク (東京都千代田区富士見二丁目11番11号)</p> <p>(6) 提案書特定日 令和3年1月12日（火）</p> <p>(7) 提案見積金額 3129万5000円（消費税込み）</p> <p>(8) 提案内容の主な特長</p> <p>ア 講座内容の録画・配信やオンラインのライブ授業により、遅刻者・欠席者へのフォロー体制を強化</p> <p>イ 保護者への定時連絡・個別面談に加え、オンラインでの学習・進路相談を新たに実施し、家庭に対するサポート体制を強化</p> <p>ウ 定期考査期間の生徒の不安に寄り添い、定期考査出題範囲を踏まえた講座を新たに追加</p>	提案事業者	得点 (満点 732 点)	得点率	株式会社 エデュケーショナルネットワーク	631点	86.2%	第2順位事業者	578点	79.0%
提案事業者	得点 (満点 732 点)	得点率								
株式会社 エデュケーショナルネットワーク	631点	86.2%								
第2順位事業者	578点	79.0%								

	<p>2 令和3年度実施概要（参考）</p> <p>(1) 目的 家庭の経済的状況が厳しくとも、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す中学生に対し、民間教育事業者を活用した学習機会及び受験情報を提供し、「志望する高校への入学」を支援する。</p> <p>(2) 日程 令和3年4月3日（土）から 令和4年2月12日（土）まで</p> <p>(3) 会場 こども支援センターげんき</p> <p>(4) 対象 中学校3年生 100名（4クラス編成）</p> <p>(5) 講座内容 ア 定期講座（原則として毎週土曜・年40回） イ 夏季集中講座（夏季休業期間に10回） ウ 冬季集中講座（冬季休業期間に5回） ※ 通常講座で主に数学・英語を、特別講座（任意参加）で主に国語・社会・理科を実施する予定</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>所得審査及び学力診断テスト結果に基づき、3月15日頃入塾生を決定し、4月3日（土）に開講する。</p>

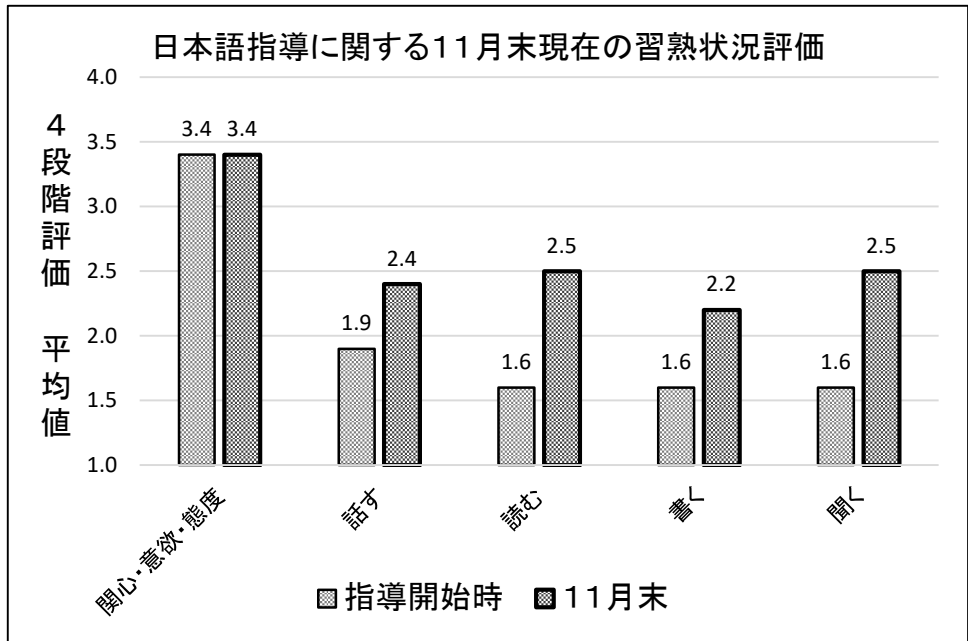
足立はばたき塾運営委託 提案書特定結果

対象業務名				配点		業者名		
足立はばたき塾運営委託						第一順位	第二順位	
項番	分類	評価項目		加点	-	得点	得点	
		評価項目	指標					
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	450点	提案内容の的確性	業務計画(指導内容)や業務実施手順は妥当か	足立はばたき塾の目的と特性を十分に理解した方針を示しているか。難関高校等への進学に向けた学力を身に付けることが期待できるプログラム(年間指導計画および1日の受講スケジュール)を提案し、効果を高める工夫を凝らしているか。	60	90	55	47
				業務実施手順は妥当か。参加生徒や実施会場の管理を含め、円滑な足立はばたき塾運営のための配慮があるか。	30		25	25
		業務遂行体制は妥当か	足立はばたき塾の業務遂行体制を運営していく上で十分な業務実績があるか。	60	120	54	50	
		業務に精通し、業務を総括する管理責任者が配置されているか。担当課との緊急時の連絡体制が整っているか。	30	26		25		
		趣旨に沿った力量の講師を配置できているか。人数は妥当か。	30	26		22		
		雇用の方針(社としてのどのような人材を採用しているか)	教育事業者として、講師や社員の採用時に求める方針がしっかりしているか。	30	30	25	23	
		講師の教育研修体制は整っているか	講座実施にあたり、どのような研修を計画しているか。また、スキルアップのための研修体制は充分か。	30	30	25	22	
		関係者との効果的な連携は図られているか	参加生徒の在籍校や保護者との具体的かつ効果的な連携と協力が図られているか。	60	60	52	46	
		通塾の代替策	通塾困難となった生徒に対しても効果的な学習指導を行えるか。	60	60	54	51	
		安全安心の確保、個人情報セキュリティ等法令順守に対する取り組み	参加生徒の安全確保に関する方針は具体的に示されているか	30	60	26	25	
		個人情報保護、内部情報漏洩防止、そのほかの関連法令の内規などが、具体的かつ充実しているか。	30	25		23		
12 13 14	90点	受験対策を総合的に見た評価全般	通常講座や特別講座での教科に関する講座を通じ、参加生徒の志望校合格に向けた学力および学習意欲の向上が期待できるか。	30	90	25	23	
教科に関する講座以外での受験対策が充実しているか。	30	27	23					
難関高校等への進学に向けた有効な受験情報を有しており、生徒への情報提供の機会とその内容が充実している。	30	25	22					
15	60点	教材を総合的に見た評価全般	教材の内容は、生徒たちに合った内容であるか。また、家庭学習用教材を含め量は適切か。	60	60	53	47	
16 17	60点	プレゼンテーション全体	業務従事者が誠実で意欲が感じられるか。また、質疑応答が的確で説明がわかりやすいか。事業に対する意欲、理解が十分に感じられるか。	30	60	27	24	
提案書の内容はわかりやすく、具体的なものであるか。資料の内容から、安心して業務委託をすることができるか。	30	26	24					
18	60点	コストは妥当か	講師の賃金に影響をあたえるような不当に廉価な価格を提示していないか。費用対効果を期待できるか。見積書の積算は妥当で明確か。	60	60	49	50	
合 計				—	720	625	572	
項番	分類	評価項目		加点	-	得点	得点	
		説明	評価基準(得点)					
1	区内業者	区内に本店がある場合	委員1人あたり2点を加点	12	—			
2	区内業者	区内に教室・校舎がある場合	委員1人あたり1点を加点	6	—	6	6	
総 計						631	578	
順 位						1	2	

文教委員会報告資料

令和3年1月21日

件名	あだち日本語学習ルームの現在の指導状況について																								
所管部課名	教育指導部教育指導課																								
内容	<p>1 児童・生徒について</p> <p>(1) 通級人数（令和2年11月末現在） 小学生 3名 中学生 26名 計 29名</p> <p>(2) 母語 中国語 19名 タガログ語 9名 英語 1名</p> <p>2 指導状況</p> <p>(1) 6月下旬から通級開始 (2) 日本語の習熟に応じ、週2～15時間指導(夏季休業中を除く) (3) 日本語指導員が生徒一人一人の「個別指導計画」を立て、指導員同士が話し合い、計画の修正を加えながら、一人一人に応じた指導を実施している。</p> <p>3 習熟状況評価について</p> <p>習熟状況について、「JSL(Japanese as a Second Language)カリキュラム」と第四中学校夜間学級での日本語指導を参考にし、統一の評価表（P7参照）を作成した。指導後の記録をもとに数値評価し、指導終了の判断を行うこととした。</p> <p>(1) 評価方法 関心・意欲・態度及び「話す」「読む」「書く」「聞く」の4領域の項目（P7参照）について、指導後の記録をもとに、担当指導者が4段階で評価を行う。 4：よくできる 3：概ねできる 2：あまりできない 1：できない</p> <p>(2) 通級終了の基準 「話す」「読む」「書く」「聞く」の4領域それぞれの平均値が3（概ねできる）以上になったら通級終了とする。</p> <p>4 11月末現在の習熟状況評価の結果（中学生26名 平均値）</p> <table border="1" data-bbox="454 1704 1390 2040"> <thead> <tr> <th></th> <th>指導開始時</th> <th>11月末現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>3.4</td> <td>3.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>話す</td> <td>1.9</td> <td>2.4</td> <td>0.5↗</td> </tr> <tr> <td>読む</td> <td>1.6</td> <td>2.5</td> <td>0.9↗</td> </tr> <tr> <td>書く</td> <td>1.6</td> <td>2.2</td> <td>0.6↗</td> </tr> <tr> <td>聞く</td> <td>1.6</td> <td>2.5</td> <td>0.9↗</td> </tr> </tbody> </table>		指導開始時	11月末現在	増減	関心・意欲・態度	3.4	3.4	0.0	話す	1.9	2.4	0.5↗	読む	1.6	2.5	0.9↗	書く	1.6	2.2	0.6↗	聞く	1.6	2.5	0.9↗
	指導開始時	11月末現在	増減																						
関心・意欲・態度	3.4	3.4	0.0																						
話す	1.9	2.4	0.5↗																						
読む	1.6	2.5	0.9↗																						
書く	1.6	2.2	0.6↗																						
聞く	1.6	2.5	0.9↗																						



11月末時点で通級終了となる生徒はいない。
 指導前からの「関心・意欲・態度」を維持し、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4領域全てにおいて、指導効果が見られる。特に「読む」「聞く」の日本語の理解の領域が向上してきている。

問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員が生徒の日本語の習熟状況を把握し、所属校校長と協議の上、通級終了を判断していく。 指導終了後にも同様の評価を行う。
--------------	--

日本語指導の習熟状況評価表

中学校 年 名前

		指導開始時 (月 日)	前期終了時 9月末	指導終了時 (月 日)	後期終了時 2月末
関心・意欲・態度		進んで日本語を学ぼうとする。			
		学んだ日本語の力を活かして、他の人と関わろうとする。			
話す		学習した言葉を使って文末まで話す。			
		身近な出来事や経験したことを順序よく話す。			
		気持ちや理由を入れて話す。			
		相手や場に応じた言葉を使う。			
読む	音読	濁音・長音・促音・撥音・拗音・拗長音を含む言葉や文を正しい発音で読む。			
		漢字を使った言葉や文を正しく読む。			
		言葉のまとまりに気を付けて、なめらかに文章を読む。			
	読解	学習した文型の文を読んで、意味が分かる。			
		易しい文章を読んで「いつ・どこで・だれが・何をしたか」が分かる。			
		文章を読んで、大まかに内容が分かる。			
書く	表記	濁音・長音・促音・撥音・拗音を含む言葉や文を正しく書く。			
		漢字を使った言葉を正しく書く。			
	作文	助詞「は・が・を・へ・の・に・で」などを正しく使って書く。			
		「～でした/ました」などの過去形を使って文を書く。			
	文章	形容詞・動詞を正しく活用させて文章を書く。			
		「いつ・どこで・だれが」が分かるように書く。			
		文と文のつながりを考えて接続詞を使って書く。			
		理由をはっきりさせて自分の考えを書く。			
		自分の力で文章を書き、読み返して自分で誤りを直す。			
	聞く		教師や友達が話すことを聞き取り、内容を理解する。		
		大事なことを落とさずに聞き取る。			

4:よくできる 3:概ねできる 2:あまりできない 1:できない

文教委員会報告資料

令和3年1月21日

件名	校外施設の利用申込み方法の変更について												
所管部課名	学校運営部学務課												
内容	<p>校外施設（日光林間学園・鋸南自然の家）の利用申込み方法について、利用者の利便性・施設利用率の向上のため、下記のとおり変更を行う。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 抽選申込み方法の追加（オンライン申請）</p> <p>現在、抽選申込みをする際、区民事務所等で配布している抽選ハガキでの受付のみとなっている。利用者の利便性向上のため、オンラインで抽選申込みができるようにする。</p> <p>(1) 変更日 令和3年4月1日（7月利用分から）</p> <p>(2) 実施方法 指定管理者が作成している校外施設のホームページを改修し、申込みフォームを作成する。利用者が直接入力することで、抽選申込みができるようにする。</p> <p>(3) 抽選ハガキによる申込み 利用者アンケートの結果、「従前どおりが良い」という意見が多かったため、ハガキによる抽選申込みも併用する。</p> <p>(4) その他 抽選申込み方法の追加に伴い、令和3年度の年度協定より指定管理業務仕様書の内容を変更する。また、指定管理者が変更となった際にも対応できるよう、公募要項に本業務内容を追加する。</p> <p>(参考) 申込み方法についての利用者アンケート 平成31年4月～令和2年8月</p> <table border="1" data-bbox="400 1682 1430 2045"> <thead> <tr> <th>回答項目</th> <th>回答数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 従来どおりが良い (2か月先の利用分をハガキ抽選→空室申込み)</td> <td>687</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>② 抽選を無くし、電話申込みのみが良い</td> <td>142</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>③ 抽選を無くし、インターネット申込みのみが良い</td> <td>75</td> <td>8.3%</td> </tr> </tbody> </table>	回答項目	回答数	割合	① 従来どおりが良い (2か月先の利用分をハガキ抽選→空室申込み)	687	76.0%	② 抽選を無くし、電話申込みのみが良い	142	15.7%	③ 抽選を無くし、インターネット申込みのみが良い	75	8.3%
回答項目	回答数	割合											
① 従来どおりが良い (2か月先の利用分をハガキ抽選→空室申込み)	687	76.0%											
② 抽選を無くし、電話申込みのみが良い	142	15.7%											
③ 抽選を無くし、インターネット申込みのみが良い	75	8.3%											

年代別内訳

	34歳以下	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
回答数	116	339	229	104	116
① 従来どおり	80%	72%	80%	75%	78%
② 電話のみ	10%	16%	15%	15%	20%
③ ネットのみ	10%	12%	5%	10%	2%

2 申込み期間の変更

利用者アンケートで、旅行の計画が立てづらいため申込み期間の前倒しをしてほしい等の意見があり、他区と比較しても申込み開始が遅い状況にある。申込み期間の変更を行い、施設利用率の向上を図る。

(1) 変更内容

- ・ 抽選申込み月 利用月の2か月前→3か月前
- ・ 空室申込み月 利用月の1か月前→2か月前

(2) 変更日

- ・ 抽選申込み 令和3年4月1日（7月利用分から）
- ・ 空室申込み 令和3年5月1日（7月利用分から）

(3) 周知開始

令和3年2月から

(4) 周知方法

- ・ 令和3年2月以降の宿泊者に対し、改訂した利用案内を直接配布する。
- ・ 平成31年4月1日～令和3年1月までの利用代表者全員に案内ハガキを送付する（令和3年2月～）。
- ・ 区ホームページおよび指定管理者ホームページに掲載する（令和3年2月～）。
- ・ 利用案内を区民事務所等に配布する（令和3年2月～）。
- ・ あだち広報3月25日号に掲載（予定）。

3 スケジュール

- 令和3年2月 宿泊者に利用案内チラシを配布
 // 区民事務所等で利用案内チラシを配布
 // 令和元年度・2年度宿泊者に案内ハガキを送付
 3月 あだち広報に掲載
 4月 6・7月分の抽選受付、5月分の空室申込み受付
 5月 8月分の抽選受付、6・7月分の空室申込み受付

問題点
今後の方針